

浮城系年圖
鳥丸光廣卿を廣く二一十



太上天皇

母六条元子
本一
四
なり
世
小崩
なり

前坊

秋好中宮

母六条元子
本一
四
なり
世
小崩
なり

桃園式部

母六条元子
本一
四
なり
世
小崩
なり

桂針氏

母六条元子
本一
四
なり
世
小崩
なり

朱雀院

母六条元子
本一
四
なり
世
小崩
なり

光源氏

母六条元子
本一
四
なり
世
小崩
なり

今上

母六条元子
本一
四
なり
世
小崩
なり

女一宮

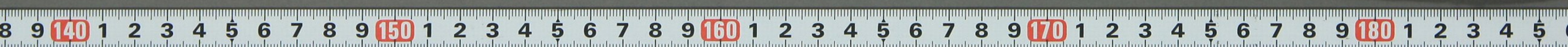
母六条元子
本一
四
なり
世
小崩
なり

後景文

母六条元子
本一
四
なり
世
小崩
なり

女三宮

母六条元子
本一
四
なり
世
小崩
なり



桂針

口よりいふは...
かたし...
田中...
さき...
の女...
わかれ...
物上...
さき...
いつ...

傍政小方

院のり...
女...
白...
わ...
ゆ...

女小宮

り...
物...
ゆ...
ゆ...

常陸宮

蓬生女君

未...
源...
乃...
乃...

禅師

源...
ゆ...
ゆ...

火...
う...
内...
う...

新...
校...
も...
う...
お...
三...
お...
り...
お...
お...
お...
お...

堂兵部

り...
精...
常...
乃...

宰相中將

侍従

女文

母...
母...
母...

兼香教中文

お...
お...
お...

仲文

冷泉院

お...
お...
お...

の...
う...
け...
お...
て...
お...
お...
お...

お...
お...
お...
お...
お...
お...
お...
お...

女小宮

東宮

お...
お...
お...
お...
お...

二宮

お...
お...
お...
お...
お...

白兵部

お...
お...
お...
お...
お...

又小方

お...
お...
お...
お...
お...

中宮

お...
お...
お...
お...
お...

大宮

お...
お...
お...
お...
お...

源氏物語のあつらひ
ゆきゆきとわたりて
心ゆくもなほつら
ふらふとてあはれ
てなほのあはれ
つらふとてあはれ

大長
六条四息所

十三年乙未和歌山より始
秋好申文とてあはれ
行すくは六条のあはれ
多すくはあはれ
秋好申文とてあはれ
秋好申文とてあはれ
秋好申文とてあはれ
秋好申文とてあはれ

二條太政大臣

朱雀院の御言はれ
りし右左殿より
太政大臣の御言はれ
りし右左殿より

大納言

朝弁

源氏物語のあつらひ
ゆきゆきとわたりて
心ゆくもなほつら
ふらふとてあはれ
てなほのあはれ
つらふとてあはれ

西原景茂及女侍

元中弁

官位弁持

源氏物語のあつらひ
ゆきゆきとわたりて
心ゆくもなほつら
ふらふとてあはれ
てなほのあはれ
つらふとてあはれ

冷泉院

四母の御言はれ
りし右左殿より
太政大臣の御言はれ
りし右左殿より

一宮

四母の御言はれ
りし右左殿より
太政大臣の御言はれ
りし右左殿より

女一宮

四母の御言はれ
りし右左殿より
太政大臣の御言はれ
りし右左殿より

女二宮

四母の御言はれ
りし右左殿より
太政大臣の御言はれ
りし右左殿より

式部卿

四母の御言はれ
りし右左殿より
太政大臣の御言はれ
りし右左殿より

侍従

文君

四母の御言はれ
りし右左殿より
太政大臣の御言はれ
りし右左殿より

宇治八宮

四母の御言はれ
りし右左殿より
太政大臣の御言はれ
りし右左殿より

入宮

四母の御言はれ
りし右左殿より
太政大臣の御言はれ
りし右左殿より

中務宮

四母の御言はれ
りし右左殿より
太政大臣の御言はれ
りし右左殿より

常陸宮

女一宮

四母の御言はれ
りし右左殿より
太政大臣の御言はれ
りし右左殿より

女二宮

四母の御言はれ
りし右左殿より
太政大臣の御言はれ
りし右左殿より

夕香大長

四母の御言はれ
りし右左殿より
太政大臣の御言はれ
りし右左殿より

董右大将

四母の御言はれ
りし右左殿より
太政大臣の御言はれ
りし右左殿より

三人は氏名は...

弘徽殿太后

朱産懐妊神女...

仰文水方

中者

明日香高侍

つづみ 内侍...

左大将

藤原景及女御

藤原景及...

左大将

藤原女御

今も昔も...

大亮

修理大史

よきこと...

上卷大姉者

母大姉...

中者

母大姉...

子習三者

母大姉...

右侍

母大姉...

中納言

母大姉...

源守

母大姉...

侍従

大亮

重右大将

母大姉...

明右中文

母大姉...

大光院

修理大吏

三人、女御りつるに
あつた

御安大御女

女御りつるに
あつた

五節君

女御りつるに
あつた

三位中将

小宰相

宰相君

女御りつるに
あつた

太宰大貳

先帝

武平宮

女御りつるに
あつた

薄雲女院

女御りつるに
あつた

前科院

女御りつるに
あつた

夕顔上

女御りつるに
あつた

筑前守

女御りつるに
あつた

五節君

女御りつるに
あつた

源中納言

女御りつるに
あつた

若君

女御りつるに
あつた

中将

女御りつるに
あつた

侍

女御りつるに
あつた

侍左宰相

女御りつるに
あつた

右大臣

左大臣

右中弁

左中弁

右位女御

左位女御

右大臣

左大臣

女御りつるに
あつた

中君

女御りつるに
あつた

三君

女御りつるに
あつた

六君

女御りつるに
あつた

常陸外

女御りつるに
あつた

源氏物語
源氏物語の女御女三宮
源氏物語の女御女三宮
源氏物語の女御女三宮

源氏文

大長

藤原景春女御
藤原景春女御
藤原景春女御

花散里

花散里
花散里
花散里

栲家大納言

女君

女君
女君
女君

泰議文内

泰議文内
泰議文内
泰議文内

明石乳母

明石乳母
明石乳母
明石乳母

栲家大政大臣

栲家大政大臣
栲家大政大臣
栲家大政大臣

母御
母御
母御

氏中大納言

氏中大納言
氏中大納言
氏中大納言

兵部御

兵部御
兵部御
兵部御

新貝黒大納言

新貝黒大納言
新貝黒大納言
新貝黒大納言

女御

女御
女御
女御

上

上
上
上

致仕大政大臣

致仕大政大臣
致仕大政大臣
致仕大政大臣

常陸外

花人或美

台と物監

中文大夫

喜里

瀨波弓月書

源女御之書

中將水方

伴与守

伴与守
伴与守
伴与守

紀伴忠

紀伴忠
紀伴忠
紀伴忠

花人右近将監

花人右近将監
花人右近将監
花人右近将監

花人女御書

花人女御書
花人女御書
花人女御書

柏木権大納言

柏木権大納言
柏木権大納言
柏木権大納言

賢里左大将

有んりふに右大納言梅之
なまねりしれし今よの
しりしりしりしりしり
火よりれんはしりしり

兼香殿女御

今よの四女兼香殿
の女御正之れしりしり

頭中侍

源氏の大侍志のいり
ゆれんりのりしりしり
行をりしりしりしり
りしりしりしりしり

女御

是の女御のいりしり
りしりしりしりしり

大臣

明右入右

源氏の大侍志のいり
ゆれんりのりしりしり
行をりしりしりしり
りしりしりしりしり

桐家大納言

源氏の大侍志のいり
ゆれんりのりしりしり

大臣

源氏の大侍志のいり
ゆれんりのりしりしり

藤中納言

母或る文のいりしり
の三月のいりしりしり
りしりしりしりしり

右兵衛督

母日之非のいりしり
朱彦原のいりしりしり
人竹のいりしりしり

右大弁

母日之非のいりしり
朱彦原のいりしりしり

中侍

母日之非のいりしり
朱彦原のいりしりしり

真木柱上

母中納言のいりしり
る昔のいりしりしり
りしりしりしりしり

冷泉院女御

母右大弁のいりしり
正月のいりしりしり
女二条のいりしりしり

尚侍

母日之非のいりしり
る昔のいりしりしり
りしりしりしりしり

明右の上

源氏の大侍志のいり
ゆれんりのりしりしり
行をりしりしりしり

桐右兵衛

源氏の大侍志のいり
ゆれんりのりしりしり

藤中納言

母或る文のいりしり
の三月のいりしりしり
りしりしりしりしり

右大弁

母日之非のいりしり
朱彦原のいりしりしり
人竹のいりしりしり

中侍

母日之非のいりしり
朱彦原のいりしりしり
りしりしりしりしり

夕香小方

母中納言のいりしり
る昔のいりしりしり
りしりしりしりしり

尚侍

母日之非のいりしり
る昔のいりしりしり
りしりしりしりしり

明右の上

源氏の大侍志のいり
ゆれんりのりしりしり
行をりしりしりしり

桐右兵衛

源氏の大侍志のいり
ゆれんりのりしりしり

大臣

宇治小方

母君二人うんやして
くみれりてとて

父

左中弁

舟尾

母うんや大祝の
必れりてりあわ
じりれりてり人
大まうをぬぐたり
あつてり

奉議惟光

母大或れりとのり
大次郎りてり
下りりあつてり
大まうり梅うたり
ふり下

山河周梨

ことりりあつてり

少将命俊

母りりあつてり
タリりりあつてり
とれり氏やめあ
いさりりあつてり
一人

三つも妻

タリりりあつてり

小野大虎

りりりあつてり

僧部

りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり

桐右基更長

源氏とのりりあつてり
四りりりあつてり
ありりりあつてり
りりりあつてり

雲林氏律師

源氏日れりあつてり
ありりりあつてり
りりりあつてり

紀伊守

常陸も小方

りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり

無清佐

りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり

藤内侍

りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり

兵部大輔

りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり

大物命俊

りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり

りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり

近江君

りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり

先人少将

りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり

太宰少将

りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり

豊後外

りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり
りりりあつてり

次高

りりりあつてり
りりりあつてり

三郎

りりりあつてり

母沖許

りりりあつてり

てふはれをよそよそ
あつちりしりしれ
よもして後一品
のむらやむの時
はつちあつち中
うらな舟がり
人思えんころは

安養は尼

えんやん
あまのひろき
あつちりしりし
あまのひろき
あまのひろき
あまのひろき
あまのひろき

ふ川僧都

ふがせれ女
あまのひろき
あまのひろき

小山侍

しりしり
あまのひろき
あまのひろき

小山律師

源氏や
あまのひろき
あまのひろき

山侍部

あまのひろき
あまのひろき
あまのひろき

左大納

あまのひろき
あまのひろき
あまのひろき

右大納

あまのひろき
あまのひろき
あまのひろき

新式部

あまのひろき
あまのひろき
あまのひろき

王命女

あまのひろき
あまのひろき

小侍

あまのひろき
あまのひろき

中納言

あまのひろき
あまのひろき

右近

あまのひろき
あまのひろき

中務

あまのひろき
あまのひろき

右と

あまのひろき
あまのひろき

雲井為乳母

あまのひろき
あまのひろき

本枯女

あまのひろき
あまのひろき

あまのひろき
あまのひろき

母御許

あまのひろき
あまのひろき

兵部君

あまのひろき
あまのひろき

少納言乳母

あまのひろき
あまのひろき

中納言

あまのひろき
あまのひろき

中務

あまのひろき
あまのひろき

女別当

あまのひろき
あまのひろき

源内物

あまのひろき
あまのひろき

右大納

あまのひろき
あまのひろき

めい

中山律一

源氏わらやまのり
しげの久日そ

山俣部

志のこ懐へる
ゆえんがしつら
久のこを

左大物

ひまの
ゆえんがしつら
久のこを

右三入

ひまの
ゆえんがしつら
久のこを

野式部

ひまの

明石元上

あし
ゆえんがしつら
久のこを

こり

中務一

あし
ゆえんがしつら
久のこを

右と一

あし
ゆえんがしつら
久のこを

雲井為乳母

あし
ゆえんがしつら
久のこを

本枯女

あし
ゆえんがしつら
久のこを

中務君

あし
ゆえんがしつら
久のこを

女別当

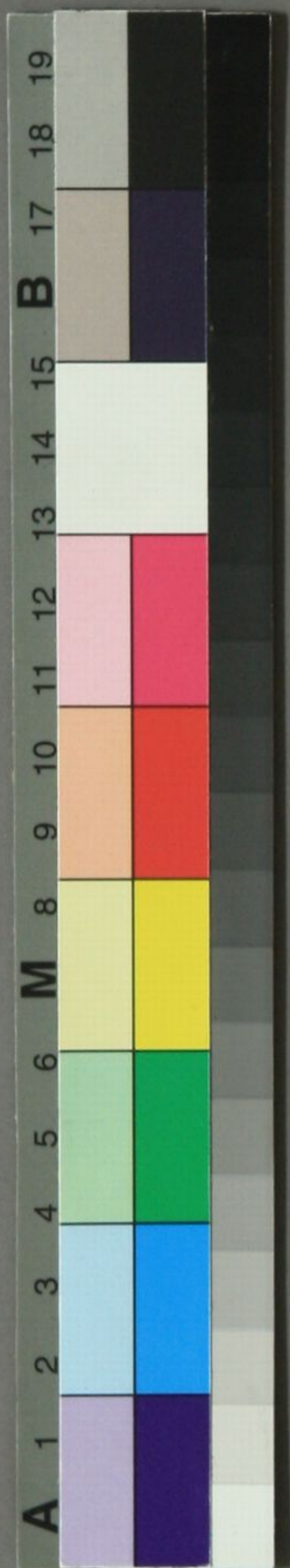
あし
ゆえんがしつら
久のこを

源内物

あし
ゆえんがしつら
久のこを

山内

あし
ゆえんがしつら
久のこを



Handwritten text on a wooden slip, likely a manuscript fragment. The characters are written in a cursive style and appear to be: 卷之八 (Volume 8).

